

2025 2Q目標

2025年6月5日 23:19

圧縮	独自圧縮・全数保存機能の実装を支援し下記計画通りに完遂させる。 エンコーダを制御する機構ソフトのベース品質を上流で確保し、独自圧縮のエンコーダの品質リスクを明確ににし、3Qから評価チームのTC開始できる品質にする。	運用実績のないLinuxエンコーダについて、品質面でのリスクを早期に把握・対処できるよう、評価を前提とした実装およびテスト環境の整備を行う。具体的には以下の取り組みを行う： <ul style="list-style-type: none"><li>Linuxエンコーダの基本動作を実現する最小構成の実装を短期間で構築し、早期に試験可能な状態を作る。</li><li>品質リスクが想定される観点（耐久性、信頼性、メモリ使用量、エンコード速度など）を整理し、それらに対応したテスト方針・確認手順を評価チームと連携して策定する。</li><li>継続的な評価が可能な環境（ログ収集・自動テストなど）を整備し、検証を効率化・可視化する。</li></ul>
数値演算	数値演算 ・機能実装を完了させる。 ・数値演算に期待される仕様・性能を実現できていることを定量的に確認し、3Qから評価チームのTC開始できる品質にする。	実装工程で、網羅的で自動化されたリグレーションテストの実施を徹底する。 ・数値演算が求められる設定を収集し、狙い通り課題解決できるか確認する。
計測高速化	評価チームと連携して、計測高速化の品質を高め、 <b>定量的かつ論理的に品質に問題ないことを説明できる状態にする。</b>	テスト観点となる品質特性を <b>事前に明文化し、それに基づいた具体的なテストケース、連続運転を計画的に</b> 実施することで、 <b>品質</b> を論理的に高める。 日々の評価チームとの定例にて、不具合の発生要因や品質リスクが高い実装をタイムリーに共有し、評価観点を強化する。  <b>V2以降の世代並列・カメラ並列化にも活用できる資料を作成する。</b>
ランダムトリガ		
PCソフト パラメータチューニング イメージストリップ ランダムトリガ 性能改善	PCソフト実装支援 KSW担当と、機構とのつなぎこみ、設計検討・実装・レビューと一緒に実施 ・「段階的引き継ぎプロジェクト」として、 <b>一定期間リード＋フォロー役を明確に設定</b>	PCソフトをKSWに任せやすい環境づくり ・リファクタリングできるリグレーションテスト環境の整備 ・開発難易度を下げる仕様変更 ・表示性能改善
その他	Actx開発（V222・V213対応） CRA対応。XGX周辺ソフト（VisionTerminal、単体SIM）、CVXのランタイム更新	ACTX開発をKSWから画像開発へ移行し、継続的な改善・保守が可能な体制を整備する。
組織課題	・事業部・KSW V開・評価チームの3組織でQUP活動（リグレーションテスト整備）の体制を整備し推進する ・FWチームの技術的・運営面の自立性を高め、リーダー塩田さんが他機能に注力できる状態にする。	・独自圧縮の開発をFWチームから切り離し、自立したチームとして運用する。 ディリーで課題共有と技術レビューの場を設け、経験浅いメンパのキャッチアップを支援する。